

## 2022 年度後代検定（前期）の調整交配が始まります

2022 年度後代検定の候補種雄牛の調整交配が 11 月から始まります。  
実施計画の概要と今回のポイントをお知らせしますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

### 【実施計画（概要）】

候補種雄牛頭数	100 頭（前期 50 頭、後期 50 頭）	※昨年度 140 頭
調整交配期間	前期 2022 年 11 月～2023 年 2 月	
	後期 2023 年 4 月～2023 年 7 月	
候補種雄牛 1 頭あたりの検定娘牛頭数	45 頭	
候補種雄牛 1 頭あたりの調整交配頭数	405 頭	

（注）実施計画の詳細については、候補種雄牛名簿をご確認下さい。

### 【今回のポイント】

#### ○候補種雄牛を 100 頭に厳選

- ・ゲノミック評価値の信頼性向上による予備選抜の強化により、候補種雄牛頭数を 140 頭から 100 頭（前期：50 頭、後期：50 頭）に厳選しました。

#### ○候補種雄牛の期待能力が大幅にアップ

- ・ゲノミック評価値の活用によって、より若い雌牛から雄牛を生産し、より高い能力が期待される雄牛の中から候補種雄牛を予備選抜しました。
- ・前期 50 頭のうち 36 頭のゲノミック評価値（NTP）は、現在供用されている検定済種雄牛トップの評価値（2853）を超えています。 <下表>
- ・また、無角やレッドといった特徴を有する候補種雄牛もいます。

---

牛群の改良を効率的に進めるためには、高い信頼度を有する検定済種雄牛とともに、最新の遺伝子を持つ候補種雄牛（ヤングサイア）をバランス良く利用することが重要です。  
候補種雄牛の調整交配へのご協力をお願いします。

---

N T P	供用中の検定済種雄牛	候補種雄牛（前期 50 頭）
3500-	-	3 頭
3000-3500	-	19 頭
2500-3000	4 頭	20 頭
2000-2500	17 頭	8 頭
1500-2000	29 頭	-
-1500	22 頭	-
（トップ）	（2853）	（3780）
[平均]	[1768]	[2965]

（注）ゲノミック評価の開始により、候補種雄牛の評価値が得られるようになりました。  
ただし、娘牛の成績がないので、信頼度は検定済種雄牛よりは低くなります。